

高浜発電所でのトラブル・事故に対する 反省と再発防止について

平成29年 5月11日
関西電力株式会社

対 象	反 省 点
4号機水漏れ	<p>1. <u>作業の実施に伴うチェック体制が脆弱であった</u> 従来から実施している作業であり、作業内容を作業員のみ任せ、締付確認について<u>当社自身の関与が不足していた。</u></p>
4号機原子炉自動停止	<p>1. <u>運用変更を伴う設備工事に対してチェック体制が脆弱であった</u> 今回の運用変更に際して、メーカー作成の技術検討資料を工事所管箇所のみがチェックを実施しており、<u>社内の専門家(原子力安全統括、原子炉主任技術者、電気主任技術者、社内他部門[工務部門])によるチェックができていなかった。</u></p>
2号機クレーン倒壊	<p>1. <u>自然現象に対するリスク管理ができていなかった</u> 当日の気象状況の変化について、工事に関与した多くの者が気象状況の変化について把握・議論しておらず、自然現象に対するリスク管理ができていなかった。</p> <p>2. <u>工事用資機材に対する当社の関与・リスク管理ができていなかった</u> 請負会社が持ち込む大型重機について、請負会社やオペレーター会社に任せ、当社の関与、リスク管理ができていなかった。</p> <p>3. <u>土木建築工事の実施に伴うチェック体制が脆弱であった</u> 土木建築工事については、専門性の高い工事ではあるが原子力施設に対する影響や、作業現場付近の原子力施設の重要性等を共有するチェック体制が脆弱であった。</p>

当社として、①リスク管理体制、②当社自身の関与、③チェックの多重化、が不足していた。

今回のトラブルを教訓にすべての現場について、トラブル発生前に遡って、対策できていなかったことを認識・反省し、新たな再発防止策の徹底と水平展開など、安全確保へのためまね改善に取り組む

①リスク管理体制

- ・自然現象悪化が予想される場合には、発電所長責任のもと体制を構築し、発電所内に周知するとともに必要な対応を行うこととした。
- ・発電所幹部が出席し、工事の危険性を議論し、対策を検討するリスクレビュー会議を設置した。

②当社自身の関与

- ・土木建築の副所長を増置するなど、当社人員を強化するとともに、すべての現場について当社社員自ら現場チェックを行うこととした。

③チェックの多重化

- ・人的ミスを確実に検知できるよう重要な機器の確認にはすべてダブルチェック以上にて確実な管理を行うこととした。
- ・資機材の管理方法など当社が机上・現場にて確認し、必要に応じ是正することとした。
- ・専門性の高い変更管理についてはすべて専門的な視点からチェックできるよう、レビューステップを追加した。

④類似トラブルの防止

- ・トラブル当該機器・工事と同種の全機器・全工事を対象として、同様の悪さ（原因）を是正・排除する目的で総点検を実施し、必要に応じて是正を行った。

今回のトラブルを教訓に、原子力発電所におけるすべての現場について、安全を最優先に発電所の運営を行っていく